

# 消防署 だより

松前消防署 ☎ 984-3404  
FAX 984-4011

## 一人一人の対策で大規模火災を防止 地震時の通電火災にご注意

近年、マグニチュードの大小に関わらずさまざまな場所で地震が発生し、いつ大規模地震が発生してもおかしくない状況です。

地震火災の発生はガスコンロや石油ストーブなどの暖房・ガス機器の転倒による火災が多い印象ですが、近年発生している大規模地震では日常的に使用している電気機器からの火災も増加傾向にあります。

地震の発生を防ぐことはできませんが、私たちの行動ひとつで被害を最小限に抑えることはできます。

日頃から次のことに気をつけ、地震が起きたときは落ち着いて行動しましょう。

### ● 通電火災とは

「通電火災」とは、地震や台風等の自然災害の影響により、停電から電気が復旧することによって発生する火災のことです。

停電状態から通電されるときの「火災」に注意！



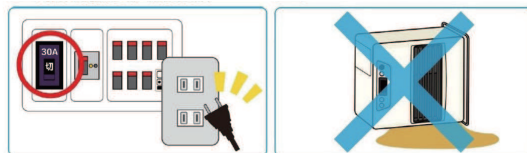
### ▶ 地震火災を防ぐためにできること

#### 【事前の対策】

- 1 家具を固定するなど転倒防止対策をする。
- 2 住まいの耐震性を確保する。
- 3 暖房器具や照明器具の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない。
- 4 消火器や住宅用火災警報器を設置する。

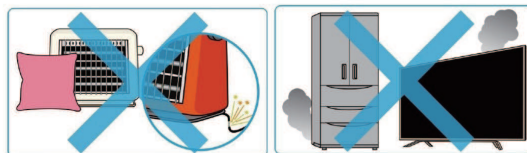
#### 【地震直後に注意すること】

- 1 電気製品のスイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜く。
- 2 石油ストーブなどからの油漏れがないか確認する。
- 3 避難するときはブレーカーを落とす。



#### 【地震後しばらくしてから注意すること】

- 1 電気製品やガス・石油機器は、損傷がないか、近くに可燃物がないかを確認して使用を再開する。
- 2 再通電後は、電気製品に煙や臭いなどの異常がないか注意する。



#### 【日頃からの備え】

- ・自分の地域の地震火災による影響を把握する。
- ・災害が発生したときにどうすれば良いか、日頃から家族で話し合う。
- ・地域の防災訓練に参加して、災害が発生したときの対応方法を学ぶ。



総務省消防庁が発信している防災マニュアルは右のQRコードから確認してください。

